

赤白

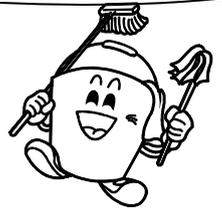
貝塚市立二色小学校 校長室だより第39号 H23年9月16日発行
貝塚市二色1-3-1 Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆34℃・・・など蒸し暑い学校で、体育をしたり学習をしたりして疲れています。

早ね・早起きで体を休め整えましょう。三連休の過ごし方にも注意しましょう。☆



「そうじの大切さとは、その1」



学校では、ほぼ毎日そうじの時間(1:20~1:35)があります。

「どうして学校って、こんなにそうじばかり毎日するんだろう?」と思っている人も、中には、いるのではないのでしょうか。ただ、なんとなく、そうじの時間があるからそうじをしている人も多いかもかもしれません。

掃除の掃は、「はく」、掃除の除は、「取り除く・ゴミをなくす」の意味ですね。今の住宅事情では、ほぼ「はく」という作業は必要ないと言ってもいいぐらいですね。「掃除機」もありますし・・・。「ゴミを取り除く」などはほとんど家ではしませんか?

ですから、長い箒(ほうき)を使うのは難しそうです。4月に新しく入れ替えてもらった箒は、真ん中で先割れスプーン状態になり、ペンペンカールしていたりします。箒を掃除機のように持って前に前に進んでいる人もよく見ます。中には、箒に乗っかっている人も。



けれども、中には上手に使って、すいすいゴミを集めて、さっさと片付けている子もいます。そして、箒以上に邪魔くさくて、面倒?なのが、「ぞうきん」です。よく見ていると、一週間同じ人ばかりぞうきんをしばって拭いていることもあります。・・・そして、最後に後片付け。・・・そうじって、大変です。



しかし、こんな現代であるからこそ、**そうじを大切にしたい**と思うのです。例えば、震災のボランティアに行ったとしたら、すぐにごみや瓦礫集め、援助物資の後片付けなど待っていきそうです。新しい仕事に就いたら、「トイレそうじ」からさせる職場もまだまだあります。コンビニや販売店の前の道路を掃除している若い販売員を見かけたりします。なぜそうじをするか?→きれいな方が気持ちいいし、いい感じだし、やる気(元気・能率)も上がるからですね。→**他の人のために、自分のために、みんなのために**、きれいにするのでですね。

そうじのいいところは、「やったらやるだけきれいになり、きれいになったことがだれの目にも見えて、すぐわかる」ところです。また、そうじの**こわい**ところは「やらなければやらないだけ、きたない状態が平気になり、きれいにするのも面倒で、どうでもよくなり、やる気がなくなっていく」ところです。



残念ながら、二色小学校の校舎周りの樹木に、空き缶を差し込んでいる人がいたり、吸い殻・お菓子の箱などを捨ててあることが多々あります。管理組合により、委託業者さんがきれいにしてくれますが、自分の住む街に、自分でゴミを捨てるなんて、おかしいですね。そう思いませんか?

二色小学校にいる六年間は少なくとも、一生懸命そうじのできる子であってほしいと思います。次号はそうじが成長期の子どもの体や脳や心にはいいか?など考えます。